

西播医療安全ニュース

2025 年 10 月（第 49 号）発行

◆ 令和 7 年度 第 1 回 西播支部研修

テーマ：ダブルチェック神話からの覚醒

日時：8 月 2 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分

場所：アクリエ姫路 408-409 号室

講師：京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

部長・教授 松村由美先生



エラーを見つけるために看護師は日常的にダブルチェックを行っています。しかし、2人で確認作業をすると相手への依存や思い込みが発生してしまい、ダブルチェックをしてもミスは起きてしまいます。今回の研修では、講義とグループワークを通してダブルチェックの現状と課題、ダブルチェックのリスクについて学びました。

受講者の方は院内や部署内の医療安全委員のスタッフや医療安全管理者の方の参加が半数以上で、受講動機でも「ダブルチェック」について困っている、興味のあるテーマの研修、現場でどのようにすれば良いのか現状を打破し改善するためのヒントを得たい…と切実な思いも垣間見られました。

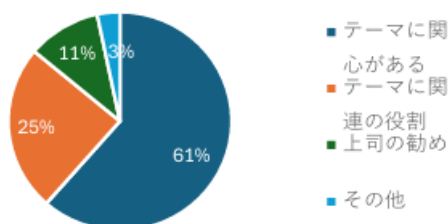


松村先生から、ダブルチェックはエラーそのものを減らすものではなく、エラーの「発見」を目的とするものであるとの考え方を理解すること、ダブルチェックを“sacred cow”（神聖な牛；神聖にして犯すべからざるもの、批判・攻撃のできない思想・制度など）にせず、研修を通してダブルチェックを減らす取り組みの提案をされました。

今回の研修は、受講定員 80 名のところ予想以上の受講希望があり、締め切りを繰り上げ参加制限することとなってしまいましたが、他支部からの受講希望も多く 160 名の受講希望者がありました。それほど興味深い、そして「課題」となるテーマだったと感じました。

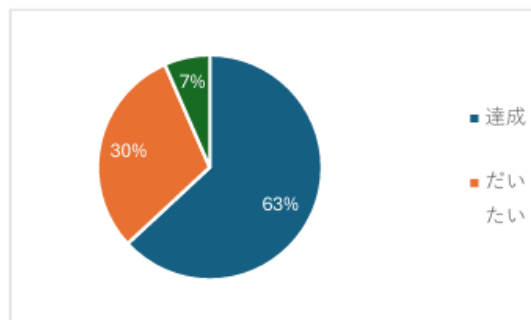
受講動機

テーマに関心がある	テーマに関連の役割	上司の勧め	その他
75	30	13	4
61%	25%	11%	3%



研修の達成

達成	だいたい	その他
77	37	8
63%	30%	7%



【アンケート結果より】

講義後のアンケートの自由記載「自院で現在のダブルチェックの状況分析やシングルチェックの導入等検討したい」「シングルチェックで責任感を養えるよう進めていきたい」「ダブルチェックによって防止できたインシデントを踏まえたうえで、ダブルチェックが必要な業務を整理し業務負担を軽減させる取り組みをしたい」「実践までは長い道のりかもしれないが、できることからコツコツ取り組みたい」等々、それぞれの受講者が自施設でのダブルチェックの有効性について再考するきっかけ、シングルチェックの導入への足掛かりとなる研修になったと思います。

弁護士との事例検討会

問題患者対応、院内暴力、転倒転落対応など、医療安全管理上の問題点に対し法的立場から指導を受けながら、話し合いをしています。自施設の困難事例の解決や他施設の事例からの学びもたくさんあります。参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

第3火曜日 16時30分～18時00分 姫路商工会議所（参加無料）

発行元：兵庫県看護協会西播支部

医療安全委員会

事務局：姫路赤十字病院

たうちえこ
田内千恵子

電話：079-294-2251

FAX：0790-32-2176

e-mail：t-tauchi@himeji.jrc.or.jp